

「防災塾・だるま」2024年4月26日（金）定例会議事次第

司会：山田 記録：鷺山

現地参加者：

Zoom参加者： 名

日時：2024年4月26日（金）

会場：かながわ県民サポートセンター11階 講義室1（Zoom併用）

時間：13：30～14：45

資料（印刷が必要な場合、各自でお願いします。：提案）

- ① 議事次第（本紙・鷺山）
- ② 第195回「防災まちづくり談義の会」レポート（田中晃）

<http://darumajin.sakura.ne.jp/30dangi/dangi2023/dangi195-report.pdf>

- ③ 「子どもと家庭の防災マニュアル」（鷺山）

<http://mirai-bousai.net/id-36.pdf>

- ④ 総会案資料(役員会・本紙巻末)

1. 塾長挨拶

2. 報告事項

(1) 会員状況会計報告（早川）

3月 菊名の杉内氏入会 で正式現在98名となった。

(2) HP更新状況(樋口) 毎月の情報等高頻度で掲載している。

(3) 2月3日談議の会レポート(田中晃)

内容的にも深い問題で、充実した講演会であり、記録も貴重である。

(4) 4月2日 JDFチャリティーイベントへの対応について (樋口・鷺山)

「防災塾・だるま」から参加：池田 田中晃 田中喜 樋口 相原 山田 鷺山

チケット販売数82

会計報告もいただいた。鷺山への交通費提供は、文化ボックスとしての賛助会員費にしていた。

(5) 3月23日「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」イベントへの対応

5月14日神奈川大学エクステンション講座あり

だるまからは、杉原 荏本 鷺山 山田 高松 加藤 参加

能登半島地震中心に多角的な報告あり。

3. 審議事項

(1) 本日第196回「防災まちづくり談義の会」実施計画

発表者の皆様に御礼。

初めてPearixによる宣伝を試みた。

(2) 第197回「防災まちづくり談義の会」(通常総会基調講演会)

「防災塾・だるま」2024年通常総会 基調講演会実施計画

- 1 日時 2024年5月24日(金)15:00~16:30
- 2 会場 横浜駅徒歩5分 神奈川県民サポートセンター 11階 講義室1
通常総会(13:30~14:45) 90分(挨拶・質疑応答含む)

基調講演会(15:00~16:30) 講師高橋先生現地到着 14:30にご来場

- 3 講師 理学博士 高橋雅紀 先生

(プロフィール)

東北大学にて博士号取得後、1992年に通商産業省(現経済産業省)工業技術院地質調査所(現産総研)に入所。専門は地質学、テクトニクス、層序学。関東地方の地質を調べ日本列島の成り立ちを研究。



- 4 テーマ『山国誕生の謎-東西圧縮の原因-』

5ご講演要旨

日本列島が誕生したのはおよそ1500万年前。日本海の拡大によって、大陸から島国になりました。その後の長い間、日本列島の大部分は海の底。ところが、およそ300万年前になると、東西圧縮と呼ばれる地殻変動が始まりました。海底は盛り上がり、さらに一気に隆起して世界有数の山国に成長したのです。この地殻変動の原因は何でしょうか。私たちが住む日本列島誕生の謎を、厚紙模型を組み立てながらひもといってみましょう。

(参考:防災・防災教育的提言につながる視点から)

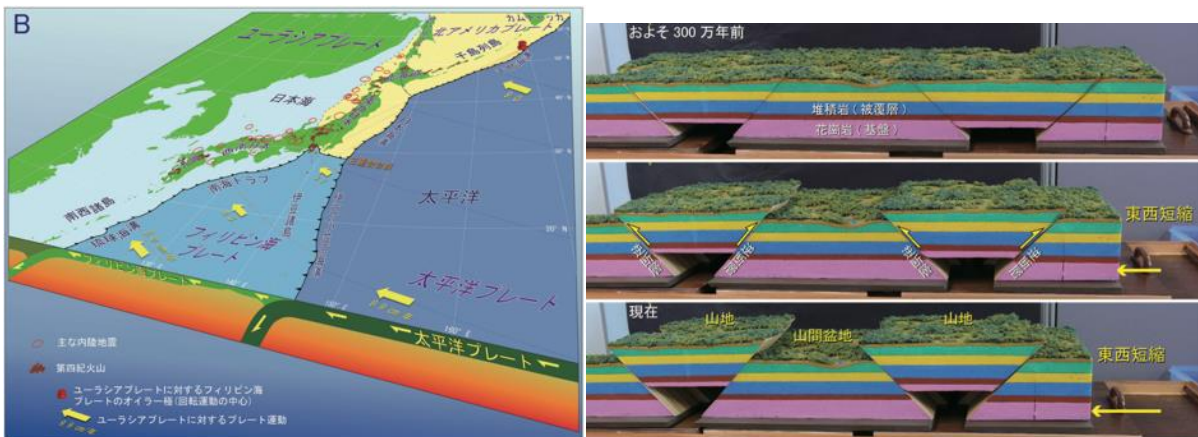
大地が広がり山国に成長する過程で断層が動きます。断層運動によって日本列島は何度も地震災害を被ってきました。私たちが住む日本列島の大地をつくったのも、ときどき地震災害を引き起こす断層運動も、どちらも東西圧縮が原因です。自然現象には人間にとってプラスだけでなくマイナスの面があることを理解し、日頃の防災に役立てましょう。

6 講演会趣旨

高橋雅紀博士は、日本列島の形成過程を地層・ボーリング調査や斬新な幾何学的研究によって解き明かされてきました。ブラタモリなどにも多数回出演され、誰にもわかりやすい教育普及されています。博士考案の紙模型を作って「日本列島誕生」を体感させていただくことができます。能登半島地震の海岸隆起で見られたように、プレートの運動が大地を生み出すとともに、備えができなければマイナスとなるという博士の知見に学び、新時代の防災教育への考察を深めたいと思います。(塾長)

- 7 進行 司会 山田 講師紹介 鷲山 御礼の言葉 荏本名誉塾長

9 使用許諾をいただいた写真



(3) 第198回「防災まちづくり談義の会」(総会確認後予定)

日時：7月19日(金)

会場：

講師：神奈川県建築士会他

演題：能登半島地震を踏まえた耐震化推進について(仮題)

(4) 名簿再構築 環境が整ったら実施 係分担体制 (土'谷 田中喜)

名簿再構築システムができれば、テストを繰り返してバグを修正。

名簿担当として土'谷氏に加わってもらう。

入会や会員名簿確認の自動返信は、副塾長、田中喜、土'谷で共有する。

(4) 総会時に配布の名簿について(早川)

(5) 「子どもと家庭の防災マニュアル」の扱いについて

鷺山が子ども向けリモート授業のために子どもとのやり取りの中でできたが、

「防災塾・だるま」の知的資産を凝集している。防災諸法に準拠。

わかりやすい片山氏イラストを活用。「防災めぐり」PPT版と併用、補完できる。

今後「防災塾・だるま」の共有教材として公開する。

4月2日SDFチャリティーイベントでも「防災塾・だるま」の「子どもと家庭の防災マニュアル」として紹介した。

(6) 片山氏の優れたイラストのHP公開について。

完全著作権フリーとして提供している。技術的に可能となったので、公開を進めたい。(試行サイト) <http://mirai-bousai.net/id-7/>

(7) SNSの活用について

まずはPeatixの活用を試みる。無料、有料でのチケット販売も可能。

・無料チケットの場合には無料で活用できる 196回談義はこれを実施

・有料チケット一枚販売につきPeatixへの手数料99円。197回から、会員以外の拡大を図る。

<https://services.peatix.com/ja>

第196回「防災まちづくり談義の会」Peatixチケットサイト

<https://bousaijukudaruma196-notohantou-report.peatix.com/view>

(8) 「賛助会員」の募集について 今後、特典等の規則が必要。

HP やチラシへの広告掲載等

(9) ギャザリングへの対応 開催10月12日(土) 市民防災センター

・「子どもと家庭の防災マニュアル」+「防災めぐり」

も活用したクイズブースを実施する。

・グッズ カップ等

・原田氏 中根氏は別途出展

・ギャザリング講演会 6月22日(土) 午後13:00～ 県民サポートセン

ター 講師 佐藤孝治先生

(10) 通常総会議案書 (巻末参照)

(11) 今後の「記録」体制について

防災塾・だるまの資産である記録のクォリティを維持する必要。

田中晃氏の後任、及び複数で記録を担当する体制づくりが課題。

(過去には複数体制の時代もあった。)

講師からの記録をフォームで収集する体制を試みているので、講演要旨のアーカイブ化 (Os-7HP のような) は可能かもしれない。

(12) 印刷資料の今後について

(提案)

- ・定例会及び「防災まちづくり談義の会」等の紙印刷資料は事前、事後にメール、HPによりPDF資料を配信している。
- ・時代の変化に対応して、今後これらに重複して紙ベースの印刷資料は最小限とする。

(理由)

- ・「定例会」「防災まちづくり談義の会」等を神奈川大学で開催していた時代には、大学の印刷室を自由に使用でき、大量の印刷物を配布することもできました。
- ・現在は、役員が自宅等で印刷している実態があり、係への負担となっています。
- ・時代も変わり、定例会の資料はスクリーンに映しながらリモート参加の方とも共有でき、PDF資料は、各自のスマートフォンでも閲覧可能です。
- ・会費支出削減及び環境への配慮としても、印刷資料は必要最低限に抑えていただきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(11) 今後の予定

5月	24 (金)	県サポ 講義室1	通常総会 基調講演会(談義197)		
6月	21(金)	県サポ 講義室1	役員会 役員会取組計画等		
7月	19日 (金)	未定	定例会 「198防災まちづくり談義の会」		

			能登半島地震を踏まえた耐震化 推進(仮題)		
--	--	--	--------------------------	--	--

(12)名誉塾長挨拶

「防災塾・だるま」2024年度 第16回通常総会 議案書(元案) (2024年4月26日定例会資料)

◆日時：2024年 5月 24日(金) 13時 30 分～16時 45 分

通常総会	13:30～14:30
基調講演	15:00～16:15
防災サロン	16:15～16:45 サロン(新会員紹介等・談義の会感想)

◆会場等：県民サポートセンター及びオンライン方式との併用開催(環境 OK?)

〈議事次第〉 (総合司会 山田美智子 副塾長)

1. 開会の挨拶 塾長 鷲山龍太郎

2. 報告 (出席者確認 田中喜世美 理事)

- ・会員状況について・・・2024年3月31日現在:正会員 名
- ・規約第8条2項の規定により、議決は正会員出席者(リモート)の過半数をもって決する。

3. 議長及び書記の選出(議長:樋口 書記:田中 晃)

4. 議事

第1号議案:2023年度活動報告 ……担当 山田美智子 副塾長

第 2 号議案:2023 年度決算報告及び会計監査…担当	…担当	早川 雅子 理事
	…担当	高橋 徳美 監査 江上富美子 監査
第 3 号議案:2024 年度活動計画(案)	…担当	鷺山龍太郎 塾長
第 4 号議案:2024 年度収支予算(案)	…担当	早川 雅子 理事
第 5 号議案:「防災塾・だるま」第16期役員(案)	…担当	高松清美 副塾長
6. 閉会挨拶	…担当	荏本孝久 名誉塾長

【第1号議案】 防災塾・だるま2023年度活動報告

2023年5月26日(金)開催の第15回総会で承認された2023年度「活動計画」に基づいて活動を展開した。

9月1日関東大震災100周年を念頭に置いた活動、及び9月17日、18日に開催された防災推進国民大会(ぼうさいこくたい2023)に向けた取組みに重点を置き、大きな成果があった。

1 本会主催事業

(1)「防災まちづくり談義の会」

サロンを柱とした「防災まちづくり談義の会」開催を計画的に実施した。

- ・サロンの柱は大切にしながらも、講師の選択等は自由度を広げて開催した。
- ・充実した記録をもとに4つの観点からの考察を深めることができた。
- ・関東大震災から100年に関係する基調講演や関内地区巡検を行い、成果があった。

(2)定例会

会員間の意見交換を大切にしたいとの方針で開催した

- ・会員の実践報告や新会員の自己紹介などは会の活性化につながるので、重視したい。

(3) サロン活動

2020年度よりサロン活動を継続。本会として活動を構成し、提言していくための柱を構築することができた。

- ・短時間の発表や新しい取組みの紹介などで、充実した交流の機会となった。

2 他団体・機関との連携支援事業

(1) 城西大学での「J-DAG 訓練」支援活動 7月14日

だるま参加者：片山、樋口、高松、田中喜、吉開、田中晃

2019年度から継続し、城西大学飯塚智規先生の依頼を受け、大学での授業支援を行った。

(2) 神奈川大学エクステンション講座 担当：高松 山田 樋口 鷺山 受講申し込み

者：16名

2022年度は、昨年度に続き、神奈川大学と連携してリモートによるエクステンション講座を開催した。

- ・今回は、関東大震災100周年に対応して、講演会と関内地区巡検を行った。

(3) 防災ギャザリングへの参加と連携 10月29日 だるま参加者：田中喜世美 高松

- ・本年度はぼうさいこくたいの中でギャザリングが行われたため、本会としては参加できなかった。

- ・運営委員には、本会としての組織的な参画が必要と考える。

(3) ぼうさいこくたい2023への参加

- ・本会としては独自のオリジナルセッションを企画して申し込んだ。

- ・結果的に9団体との連携によるオリジナルセッション神奈川 Os-7 を展開し、大きな成果があった。

- ・Os-7 公式HPbosai-kanagawa.com のを確立した。今後の運用の可能性と課題がある。

3 情報共有・広報・新会員拡大への取組

(1) ホームページ 担当：樋口 増田

会員との情報共有・発信のために内容や表示方法を工夫して推進した。

- ・最新の「防災塾・だるま活動がトップになり、だれでも見やすいようにした。
- ・本会活動と、紹介したい防災情報をエリア分けした。

(2) 新デザインリーフレットの作成と HP 公開 担当：田中喜世美 鷺山

本会のこれまでの取組や新しい理念がわかるように、リーフレットデザインを再構築し、HPにも公開した。

- ・入会フォームの掲載 ・HPへの掲載

(3) Zoom 併用ハイブリッド形式の活用

・2020年度から、新型コロナウイルス感染拡大予防に対応した会運営として Zoom を活用したハイブリッド型を活用した。

(4) 入会・連絡フォームの開設 担当：樋口 鷺山

これまで、会員登録の方法が困難であったり、本会への連絡にあたり、個人メールを表示していたりすることなどが課題であったが、「入会・連絡フォーム」を開設したことで課題解決ができた。

- ・入会者があると、自動返信フォームが入会者に返信されるとともに、そのコピーが副塾長と会計担当に配信される。
- ・新フォームによる入会は11月開設以降すでに5名あり、本会活性化が期待される。
- ・このフォームの確立により、現会員の会員情報の再構築を推進したい。

(5)「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」への参加協力 担当:荏本、山田、高松、河原、鷺山、

同組織は、荏本名誉塾長を代表として県内の連携を推進している。2023年にぼうさいこくたいが神奈川県で実施されることが決定され、最善の体制で臨むための協議が重ねられた。本会としても、同組織に参画して、意見交換、提言を行った。

これらの協議と、本会会員の各所属組織との意見交換と連携づくりが行われたことと、サロンの柱に基づき、本会からの「オリジナルセッション」構想提案に到達した。

(6)荏本先生退任記念誌資料集(談議の会等アーカイブ)の作成とHP公開 担当: 田中喜世美 樋口山田

荏本先生退任記念誌の資料として、15周年記念誌に連続する「防災まちづくり談義の会」の記録を一覧にまとめHPに公開することができた。

- ・計画に従い、印刷でき、多方面に配付することができた。
- ・新会員へ配付を。

(7)「防災塾・だるま」カレンダーの配布 担当: 田中喜世美 鷲山

毎年工夫したデザインの「防災塾・だるま」カレンダーを継続して作成、配布している。

- ・今年も本会活動がわかり、デザイン的に親しみやすいカレンダーを作成配布することができ、連携構築の媒体となっている。

4 2023年度年間活動実績

※会場: 関内(=横浜市青少年育成センター: 関内ホール地下) 桜木町(=さくらリビング: 桜木町ぴおシティ6階) 4. 2023

年度年間活動実績

* 会場: 関内(=横浜市青少年育成センター: 関内ホール地下) 桜木町(=さくらリビング: 桜木町ぴおシティ6階)

月	日時	会場	定例会・役員会談議の会・防災サロン	連携支援活動	担当	参加者	談義参加
5月	26日 (金)	桜木町一研	通常総会 191回談議の会 相原延光氏 「関東大震災から百年」		理事会	34名	23名
6月	16日 (金)	関内二研	役員会		Cサロン	12名	
7月	21日 (金)	関内二研 和室	192回談議の会 松島宗氏 「地域の備えは自助と共助の見守り 合いで！」		Cサロン		32名

			定例会 防災サロン 長本史央氏				
8月	25日 (金)	関内二研	役員会		B サロン	10名	
9月	17日 ～18日	横浜国大	ぼうさいこくたい出展 オリジナルセッション神奈川 Os-7 5つのセッション 27テーマ 展示等 31 団体、参加者延 3100 名	9の連携団体	理事会	46名	
10月	20日 (金)	関内二研	193 回談義の会 相原延光氏 「複合災害としての関東大震災の横浜」 定例会、防災サロン		B サロン		17名
11月	17日 (金)	関内二研	役員会 防災サロン 早川雅子・樋口誠・荻本孝久・鷲山龍太郎各氏		A サロン	10名	
	18日 (土) 25日 (土)	KU みなと みらい 横浜公園		エクステンション講座「関東大震災」 1. 座学 2. まち歩き	A サロン	17名	
12月	22日 (金)	桜木町一研	194 回談義の会 後藤浩志氏、伊藤郁夫氏「よこはま防災力向上マンション認定制度について」 定例会防災サロン	忘年会	B サロン		25名
1月	19日 (金)		役員会		D サロン	10名	
2月	3日 (土)	横浜市健康福祉センター8B	195 回談義の会 池田恵子氏 「災害時の女性と子どもの安全」 定例会 防災サロン	防災サロン協議会	D サロン		22名
3月	22日 (金)		役員会		B サロン	9名	
4月	26日 (金)	神奈川県民サポートセンター	定例会13:30 196 回談義の会 「能登半島地震現地からの報告会」 荻本孝久氏、伊藤郁夫氏、中村圭介氏、加藤愛梨氏、高松清美氏		役員会		名
5月	24日 (金)		通常総会		役員会		

【第 2 号議案】 2023年度決算報告及び会計監査について(5月8日に会計監査を行い総会に提出)

【第3号議案】2024年度「防災塾・だるま」活動計画

1 本会主催事業

(1)「防災まちづくり談義の会」(継続)

・これまで構築した4つの柱をもとにするが、会員の興味関心や要望を生かして年間計画を工夫していく。

(2)定例会 (継続)

2022年度の反省で、会員間の意見交換や親睦の場として大切にする。

- ・原則として、隔月で年間6回実施する。(通常総会を含める)
- ・会員の実践報告や新会員の自己紹介などは会の活性化につながるので、重視したい。

(3)サロン活動 (柱を維持再構築し、継続)

2021年度よりサロン活動を継続してきた成果と観点は維持するが、分科会形式は解消。

- ・今後、サロンで構築した柱「自助・共助・公助連携・時事防災課題」は維持・発展させて、活動の方針・提言の根拠としていくが、全体で語り合う活動を大切にする。
- ・談義の会の後の時間を活用して、談義の会感想や、新会員紹介や活動紹介など交流を深めたい。

2 他団体・機関との連携事業

(1) 城西大学飯塚智規先生との J-DAG 支援活動 (継続) 月 日

2019年度から継続し、城西大学飯塚智規先生の依頼を受け、大学での授業支援を行う。

(2) 神奈川大学エクステンション講座 (継続)

新時代に対応した公開講座を企画する。

(3) 防災ギャザリングへの参加と連携 (継続) 10月12日(土) 横浜市民防災センター

- ・防災ギャザリングに参画し、本会としての発信の方法を考える。
- ・6月にギャザリング講演会開催。

(4) ぼうさいこくたい2023 in 神奈川 Os-7 で構築できた連携の継続発展

・ぼうさいこくたいで構築できた連携を継続発展できる方法を試行する。

3 情報共有・広報・新会員拡大への取組

(1) ホームページ (継続)

会員との情報共有・発信のために内容や表示方法を工夫して推進する。

(2) 新デザインリーフレットの作成と HP 公開 (継続)

本会のこれまでの取組や理念がわかるように、リーフレットを再構築しHPにも公開し、ぼうさいこくたいでも全国に向けて展開する。

(3) SNS の活用 イベント情報共有サービス Peatix の活用を試みる。

(4) グーグルフォーム・自動返信システムの活用 (継続)

・グーグルフォームの自動返信システムにより、会員以外の談義の会参加希望者に Zoom アドレスを自動返信する。

(5) 入会・連絡フォームの開設と会員情報の再構築 (再構築)

・このフォームをベースに、現会員の会員情報の再構築フォームを作成し、推進したい。

(6) 「かなか わ人と智をつなぐ 防災・減災ネットワーク」と連携する。(継続)

(7) 荏本先生退任記念誌資料集（談議の会等アーカイブ）の作成とHP公開（継続）

(8) 「防災塾・だるま」カレンダーの配布（継続）

4 2024年度年間活動予定

月	日時	定例会・理事会 談議の会・防災サロン	活動内容 ◎連携・共済事業
5月	24日 (金) 横浜市サ ポ1研	第16回通常総会 基調講演会(197回談議の会) (例) 日本列島の形成 高橋雅紀先生	基調講演 能登半島地震会員報告
6月	21日(金) 横浜市サ ポ2研	役員会	
7月	19日(金)	第198回談議の会A定例会① (例) 新時代の耐震化推進 神奈川県建築士会他 防災サロン 新会員から	◎ 月 日(木)城西大学 J-DAG
8月	23日(金)	役員会	
9月	20日(金)	第199回談議の会C 定例会② (例) 個別避難計画の推進 駒澤大学文学部社会学科 教授 川上富雄先生 防災サロン	
10月	18日(金)	役員会	◎神奈川大学エクステンション講座 関東平野の形成と関東大震災
11月	15日(金)	第200回談議の会B 定例会③ (例) 会員活動発表会	◎カレンダー配布
12月	20日(金)	防災サロンアラカルト 忘年会	

1月	17日(金)	役員会	
2月	21日(金)	第201回談義の会D 防災落語 定例会④ 防災サロン	
3月	21日(金)	役員会	
4月	18日 (金)	第202回談義の会 定例会⑤ 横浜市地震防災戦略	
5月	16(金)	通常総会	

★被災地訪問等は適宜実施

【第4号議案】2024年度収支予算について(総会に提出)

【第6号議案】2024年度役員について(本年度は規約上、2年毎の改選の年に当たらない。)

「防災塾・だるま」第14期役員名簿

任期：2023年総会～2025年総会

役員名簿改定(案)

役職		氏名	退任役員
役員	理事	塾長(代表理事)<1名>	鷲山龍太郎 (留任)
		副塾長 <5名以内>	山田美智子 (留任)
			高松 清美 (留任)
			樋口 誠 (留任)
			早川 雅子 (留任)
会計 <2名以内>	早川 雅子 (留任)		
	田中喜世美 (留任)		
総務 <2名以内>	早川 雅子 (兼任)		
	田中喜世美 (兼任)		

	理事 < 20名以内>	田中 晃 (留任) 増田 佳恵 (留任) 江上 健 (留任) 相原 延光 (留任) 原田 剛 (留任) 松島 宗 (留任) 伊藤郁夫 (新任) 土谷美智代 (新任) 中根圭介 (新任) 加藤愛梨 (新任)	
	監査 < 2名以内>	高橋 徳美 (留任) 江上富美子 (留任)	

名誉塾長	荏本孝久 (留任)	
顧問	荒卷照和 上原美都男 佐藤孝治、 杉原英和 中川和之 山本俊雄 落合 努	岩楯敏広 (逝去)
相談役		